

林 ただまさ

議会だより

人と人の絆・支え合いを大切に！

ホームページ「林ただまさ通信」 * あなたの声をお寄せ下さい

No. 45 令和2年4月1日

発行 林 ただまさ

住所 廿日市市地御前 3-13-3

電話 0829-36-1307

携帯電話 090-3376-9918

Email hayashi-tada@hi.enjoy.ne.jp

林ただまさ街づくり Blog

<http://mitsukosan.blog57.fc2.com/>

(議会、活動状況を逐次掲載)

《廿日市市議会》

令和2年3月定例会

(2月25日～3月23日)

議案 48 件、諮問 1 件、報告 4 件、
所管事務調査

令和2年度予算概要

一般会計 530 億円(25 億円減)
特別会計 261 億円(64 億円減)
企業会計 131 億円(93 億円増)
*下水道関連等が企業会計に変更

全会計合計 922 億円

市債残高 718 億円(24 億円増)

基金残高 47 億円(9 億円減)



私の一般質問(2月27日)

1. 資源回収推進報奨金の増額

(背景)

・資源回収推進報奨金制度は、子ども会、町内会及び自治会などの団体が、集団で行う資源回収活動に対し、その回収量に応じて報奨金を交付する制度で、平成3年度から実施。(交付団体登録が必要)

(質問) 林 ただまさ

現在では、市の資源ごみ回収制度及び地区と業者の契約で資源回収対応が十分できており、この制度の意味合いは薄れて、将来的には事業としては廃止し、通常での業者の引取り金額ベースにするべきと思われる。そのような事業に対し今回の家庭系燃えるごみ有料化の原資で、キロ当たり3円を5円に増額するのは有料化で負担させられる一般市民の納得が得られるものではない。改めて、その原資は燃えるごみの焼却処理費に充てるべきものと思われるが、市の考えを問う。

(答弁) 瀧本 環境担当部長

地域の集団回収活動への報奨金制度は、市民が一緒になって回

収活動することにより、資源の有効利用及び環境の保全への理解を深める。こうしたなか、回収業者の引取り金額は、近年、下落傾向が続き、資源ごみの回収意欲にも影響があるものと思われ、報奨金を増額することとしている。

(再質問) 集団回収方式だけ補填するのは公平性に欠けるし、プール・仕分けの集団回収方式より、各地区で毎月決められた日に出す方が合理的ではないのかという質疑に対し、集団回収は環境活動に役立っているとの答弁

2. 下水浄化センターにおけるバイオガスの活用

(背景)

・先日会派で、沖縄県糸満市の下水浄化センターバイオガス活用の先進事例を視察。

本事業は、糸満市浄化センターの下水処理工程で発生するバイオガスを燃料とし、C G S を用いて発電。発電した電気を、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用して売電(近隣工業団地へ供給)し、発電時の廃熱から温水を作り、近隣会社の塩製造工程において有効活用をしている。

・本市の浄化センターではバイオガス発生装置を未整備。これに対し隣の広島市西部水資源再生センターは、広島市の約7割を処理し汚泥量を削減するためにバイオガス発生装置を整備。そのバイオガスを活用して発電し、固定価格買取制度を利用して売電。

（質問）林 ただまさ
バイオガスを活用するためには、その装置の整備等が必要であるが、地球温暖化防止の視点で、電力の固定価格買取制度を利用するなど、下水浄化センターにおけるバイオガスの活用について市の考えを問う。

（答弁）川本 下水道担当部長
平成26年度に本市の下水処理場で発生する汚泥量、性状等を踏まえ、汚泥処理システムの全体計画を総合的に見直した結果、汚泥処分が安定的、経済的、また、資源利用の観点から、現行の分離濃縮・脱水とした処分方式を事業計画に位置付けた経緯がある。このことから、現在は、廿日市浄化センター、大野浄化センターで濃縮設備の新設や脱水機の更新工事を実施しており、消化に必要なタ

ンクやガスホルダー設備等の整備を行う予定はない。

（再質問）
なく、副次的な効果も踏まえて総合的な評価はどうかという質疑に対し、消化ガス方式の場合は汚泥量の削減、固定価格買取制度による売電効果はあるが、多額の設備コストが掛かるとの答弁。）

3. 串戸交差点に向けての国道2号上り線の渋滞対応等

（質問）林 ただまさ

①ゆめタウン廿日市がオープンして5年余りになるが、国道2号串戸交差点信号をネックにいつも上り線が渋滞し、時間帯によっては地御前付近まで繋がっていることもある。交差する廿日市港線側線が左折フリーになれば国道2号の信号時間確保ができるが、交通安全上困難ということである。そこで渋滞状況に対応した信号の調整はできないか。更に歩道橋整備による左折フリーはできないか。市の考えを問う。

②今後、広島はつかいち大橋の4車線化が実現し、木材港埋立事業が推進されると、廿日市港線、廿日市港線側線も非常に渋滞する

ことが考えられる。改めて、木材港西から廿日市インターチェンジ間の広島南道路の実現が望まれる。これまでも「広島南道路整備促進期成同盟会」による陳情活動が展開されているが、事業主体結成に繋がる見込みはどうか、市の考えを問う。

（答弁）河崎 建設部長

①国道2号の串戸交差点を含め多くの信号機がある交差点が連続し設置されている。このうち、扇新開交差点、宮内分かれ交差点、串戸交差点など、他地域から国道2号へ接続する交差点であり、国道2号の信号時間については、これらの信号箇所からの流入も考慮しつつ、上り、下り線の円滑な処理が可能となるよう調整されている。議員が指摘の渋滞状況については、宮内分かれ交差点、串戸交差点に設置されたセンサーで分析され最適となるよう調整されている。一方歩道橋の整備は費用対効果の面から困難。

（調整が適格かの検証要請する）

②広島南道路については、未事業区間のうち、木材港西から廿日市インターチェンジ間の優先的な

整備について、関係自治団体や経済界で構成される期成同盟会や広島広域都市圏協議会などを通じて、引き続き国・県に要望しているが、事業主体が決定していない。今後も、引き続き関係団体などと一緒にとなって、早期に事業主体を決定してもらう様働きかける。

（再質問）
の対応策として廿日市港線から西広島バイパスへの動線機能の充実が必要と質疑し、県とも連携して取り組んでいるとの答弁）

あとがき

・予算特別委員会でも資源回収推進報奨金の増額は不合理で、燃えるごみ有料化を負担する一般市民の納得が得られるものではない点を指摘し、原資をごみ焼却費に充当する修正予算を提出。結果的には賛成少数で否決されたが、将来的な懸念は残る。

・新コロナウィルス感染対策で本市も国・県の方針を受けて3月2日から25日まで市立小学校、中学校27校全校を臨時休校するなど対応。各自に置かれても手洗い・うがいの徹底等で感染予防に充分留意頂く様願います。

